

第4回つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会 議事録

- 1 日時 平成30年5月29日(月) 午前10時～午前11時15分
- 2 場所 つくばみらい市役所 教育委員会庁舎2階 第2・3会議室
- 3 出席委員
委員長 中島 正志
副委員長 直井 光一
委員 染谷 礼子
委員 久下 伸子
委員 布袋田 葵
委員 深作 志乃
委員 町田 幸子
委員 井波 進
委員 張谷 昌彦
委員 吉田 弘之
- 4 出席職員 学校教育課 課長 飯泉 勝宏
課長補佐 鈴木 富夫
主査 石引 智宏
主査 坂本 和生
係長 長岡 秋訓
- 5 コンサルタント 株式会社都市環境計画研究所
- 6 傍聴人 1名
- 7 議事 (1) つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討調査報告書(案)について

1. 開会

委員長： 今回は第3回の検討委員会の意見を受けて、わかくさ幼稚園、すみれ幼稚園の保護者の意見報告とつくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討調査報告書案につきまして委員の皆様からご意見を承りたいと考えております。

2. 委員の変更

事務局： 平成30年4月1日付けで市役所職員の異動により委員の変更がございましたので新しい委員のご紹介を致します。つくばみらい市教育委員会教育部長吉田弘之委員でござ

います。

委員： 4月から教育委員会の所属になりました。以前は保健福祉部に属しておりました。よろしくをお願いします。

事務局： 前委員でした斉藤委員は平成30年3月31日に定年退職を迎えましたことをご報告致します。

3. 協議・事務局要綱説明

委員長： それでは要綱に基づきまして議長を務めさせていただきます。さっそく次第に従いまして会議を進めて参ります。3の報告案件、わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園の意見報告について事務局から説明をお願いします。

【事務局より資料説明 参考資料報告】

4. 議事

委員長： それでは4のつくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園の再整備検討調査報告書案について事務局より報告をお願いします。

【事務局より案について説明】

委員長： 検討委員会としては最終の検討委員会ですので、どんなご意見でも結構ですので頂ければと思います。

委員： 再整備の方向性としてアンケートにもあるように、安全面の改善ということで耐震補強の方向性が見えてきたと思うのですが、幼稚園現場にいる人間としては、耐震補強だけでなく、現場の子ども達の使い勝手がよくなるようにして頂きたい。お金もかかることですが、補修整備、施設の改善も視野に入れてほしいと思います。地震に対する対策ができたうえで、園児が安全に生活できるような内部の改修も併せて進めて頂きたいと思います。

委員： 認定こども園にすることは現実的に可能なのでしょうか。費用面では、公立の幼稚園をつくるのと認定こども園をつくるのでは掛かるお金が違うのでしょうか。もし認定こども園になった場合は公立幼稚園の推計が変わってくるのではないのでしょうか。認定こども園になったことで2026年時点での予想定員が上がってくるとすると、また考え方が違うのかなと思います。また、2026年以降の園児数が横ばいになるのか、ますます下がっていくのかによって目指す基準が変わってくるのかと思います。もしも下がっていくのであれば将来的に子どもたちが高齢者になったときのために、老人ホームのような福祉施設として使えるような転換を目指すというのではないかと思います。

また、横ばいであれば園児を受け入れるという状態を維持する形で作ってもよいと思

います。

認定こども園は、市民のニーズにあっているのではないかと思います。

委員長： ただ今のご意見ですが、認定こども園という方向性に向かうのは可能かどうかというご意見でした。

事務局： 認定こども園への移行につきましては、これまでの委員会でも色々ご議論頂いたところですが、近隣や他の自治体でも行われているので制度上は可能と考えています。それから、認定こども園となった場合でも、今見ている市の全体の推計は大きくは変わりません。ただ委員がご心配されているのは今までの幼稚園では、私立の認定こども園に通わせたいと思っている保護者の方が、公立の認定こども園があるのなら、公立に通わせたいというケースかと思えます。

それについても、全体数は変わらないですが、私立か公立かというシフトはあるかと思えますので、今考える部分としましては、子どもの取り合いにならないようにも考えていく必要があるというところです。今後計画していく中で、慎重に調査させて頂きたいと思えます。

補足としまして、最終的に今回の報告書では耐震化という形で結論を出しています。ただ、いつ耐震補強しても老朽化という問題が当然残ってきます。先を見越して子どもたちの数と照らし合わせ、新しい施設を作るのか、それとも学校などの施設を利用するのかを検討した上で、認定こども園や一時保育のニーズに対応できるのか、そういったものを含めて施設規模などを検討し、見合った施設をつくっていくことが必要です。まずは耐震化で安全性を確保したいと考えています。

委員： 幼稚園のPTA意見については、前PTA会長にアンケートを取って頂きました。皆さんご覧の通り、私たち職員も「こういう園舎にいるのか」とすごく不安になった状況なんです。改修点がたくさんあるという実態が浮き彫りになったアンケートだと思います。

先ほど委員が仰られていたように耐震補強だけではなく、例えば一番切実な問題は両園ともトイレなので、そこをプラス一部補修というように書いて頂けないか。とにかくトイレだけはなんとかして頂きたい。その他にも「床がぐにゃぐにゃ」などありますが、今のところは何とかなっている状況なので、できればトイレの補修を加えて頂きたいと思っています。中長期的な見方としてはよくまとめて頂いたと思います。以上です。

委員長： 緊急性の耐震にプラスアルファで、日常に利用している段階での不安な点、改善を要する点、これも加えて頂きたいといった意見だと思いますが、事務局はどう思われますか。

事務局： ただいま委員からありましたトイレを付け加えて頂きたいということですが、課題としては、トイレだけではない状況は認識しております。前回の検討委員会で、耐震補強の中で大規模改修はできないけれども、耐震をしながらやれるものはやるべきというご意見が出ていました。

文章にしてしまいますと、緊急性の観点からは改修の部分が耐震補強にくくられており、そういう風に思われるかもしれませんが、工事を進める中では、最低限必要なものは改修していくと我々は考えています。

委員長： このことにつきましては文言に加えなくてもよろしいですか。

委員： できれば加えて頂きたい。

事務局： 「トイレ」という言葉ではなく「耐震補強に加え」というような形を検討したいと考えていますので、文言については、委員長に相談させて頂ければと思います。

委員長： では耐震工事ということで終わらないで、もう一つプラスアルファの文言をそこに加える、文言の内容につきましては委員長預かりということで一任させて頂いてよろしいでしょうか。

委員： 異議なし

委員長： 基本的な姿勢はご提示の内容のようにプラスアルファを加えるということで、修正確認と教育委員会への提出については、一任とさせて頂きたいと思います。よろしいでしょうか。

委員： 異議なし

5. その他

事務局： ただ今協議頂きました調査報告書の修正と、委員会としての報告書の提出につきましては委員長と相談させて頂いて、この後対応させて頂きます。よろしくお願ひします。
修正後の調査報告書につきましては、後日委員の皆様へに郵送させて頂きますので、そちらで確認頂くということでご了承いただければと思います。以上でございます。

委員長： それでは本日の議事は終了と致します。よって議長の職を解かせて頂きます。ご協力ありがとうございました。

6. 閉会

事務局： ありがとうございました。委員の皆様におかれましても昨年度から貴重なご意見・ご審議ありがとうございました。以上を持ちまして、つくばみらい市立わかぐさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会を解散と致します。今後はこの報告書を基に市長をはじめ庁内で協議を進めて参ります。また、協議の結果としては広報紙などを通じて広く周知して参りますので、今度ともご協力をよろしくお願い申し上げます。皆様方におかれましては、ご尽力頂き誠に感謝申し上げます。ありがとうございました。

以上